

# 元気いっぱい 平成30年1月9日(火)

## 久世西っ子 1月号

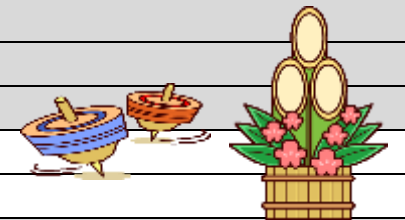
京都市立久世西小学校  
電 話：934-0460  
FAX：934-0479  
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=106009>



学校HPへは  
こちらから

### 1 月 行 事 予 定

日	曜	行 事
1	月	元日 学校閉鎖
2	火	学校閉鎖
3	水	学校閉鎖
4	木	冬期休業
5	金	冬期休業
6	土	冬期休業
7	日	冬期休業
8	月	成人の日 冬期休業
9	火	授業・給食開始 朝会 ほけんの日 ALT スクールカウンセラー 部活
10	水	身体計測6年 ALT 部活 口座振替日
11	木	3～6年(プレ)ジョイントプログラム フッ化物 身体計測2年
12	金	3～6年(プレ)ジョイントプログラム 身体計測1年 部活
13	土	六斎 親子ドッジボール大会(久世西)
14	日	
15	月	⑥委員会 身体計測5年
16	火	学校安全日 身体計測4年 部活 Pベルマーク
17	水	身体計測3年 代表委員会(昼) 部活
18	木	フッ化物 身体計測さくら
19	金	研究発表会(授業公開クラス以外4時間授業)
20	土	
21	日	
22	月	⑥クラブ スクールカウンセラー
23	火	なかまの日 自由参観日 ⑥避難訓練(引き渡し訓練) 3.5.6年情報出前授業
24	水	③④5年水族館出前授業 4年図書館ブックトーク(AM) 小6を迎える日(久世中で・PM) 部活
25	木	フッ化物 口座再振替
26	金	6年久世中制服採寸(15:30～) 部活
27	土	漢字検定 六斎
28	日	六斎成果発表会(西院小)
29	月	児童朝会 ⑥クラブ 給食週間(～2/2)
30	火	給食の日 5年音楽鑑賞教室(PM) 部活
31	水	部活



### けいどろ

久世西小学校 校長 竹田 佳弘

9日の朝、子どもたちは、「おはようございます。」「おめでとうございます。」と、元気にあいさつをしながら、登校してきました。—子どもたちはどのような冬休みを過ごしたのだろう—

わたしは、子どもの頃、冬休みに、凧揚げやこま回しなどのお正月遊びをよくしました。同じ町内の上級生に遊びのルールやコツを教えてもらいながら一緒に遊びました。

先日「校長先生も一緒に『けいどろ』をしよう。」と、2年生の子どもたちが中間休みに声をかけてくれました。『けいどろ』とは、警察と泥棒の2グループに分かれてのつかまえです。チーム戦のため、鬼ごっこより、仲間との連携や作戦が重要になります。

「ついに全員捕まえた。」と戻ると、捕まえた泥棒たちは、牢屋から逃走。話を聞くと、寝返った警察がいたようです。

冬休み、家族や友だちと凧揚げやカルタ・百人一首などのお正月遊びを楽しんだ(?)子どもたちと、もう一度『どろじゅん(私の地域ではそう呼んでいました)』をしたいと思います。年長者として、ルールと楽しむコツをしっかりと伝えて。

### 久世3校だより

#### 『久世三校合同家庭教育講座』報告

去る12月14日に今年度3回目の「久世三校合同家庭教育講座」を開催しました。今回は、「学習のつまずきの理解と支援～見る力を中心に～」と題し、大阪医科大学LDセンターの奥村智人先生のお話でした。子どもが学習に困りを抱えている場合、視覚情報を他の子どもたちと同じように処理できていないケースが多いとのことでした。それを改善していくためには様々な支援をする合理的配慮が必要で、多様化していく学び方を認める(個性を認める)ことが大切だということお話がありました。合理的配慮とともに一人ひとりの違いを認めていく教育を今後も推進していけたらと思います。

### 12月の取組から



<1年 球根を植えよう>  
2年生にチューリップの球根の植え方を教えてもらいました。



<2年 ふれあいタイム>  
久世中の3年生といろいろな活動をして、ふれあいました。



<3年 しめなわ体験>  
地域の方に教えていただき、しめなわづくりに挑戦しました。



<4年 モノづくり体験・工房学習>  
京都のモノづくりの歴史と技術を学びました。



<5年 自動車工場見学>  
自動車工場に見学に行き、最新技術や工夫に触れました。



<6年 女子野球出前授業>  
講師の方の生き方から自分自身を見つめ直しました。



<さくら>3校交流会

大蔵小・久世中のお友だちと英語やゲームなどで交流しました。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で  
『子ども教育の京都市民憲章』を実践しよう!



この印刷物が不要になれば  
「雑がみ」として古紙回収等へ!



2月13日(水)半日入学・入学説明会

21日(水)～23日(金)図工展 22日(木)授業参観・学級懇談会

学校評価アンケート集計結果(平成29年12月実施)

＜児童版＞

質問文	実現度		
	1. 2年	3. 4年	5. 6年
学級や学校の生活が楽しいこと	6.4	5.9	5.6
授業中, 進んで発表すること	5.5	4.7	4.3
授業中, 勉強がよくわかること	6.0	5.8	5.6
授業中, しっかりと話が聞けること	6.0	5.4	5.5
毎日決まった時間, 家で家庭学習(宿題)をすること	6.5	5.0	4.9
1年間で100冊読書をめざし, 進んで本を読むこと	5.5	4.4	3.9
進んで「おはよう」などの挨拶や「ありがとう」が言えること	6.3	5.9	6.0
学級や学校のきまりや約束を守ること	6.0	5.8	5.4
相手の気持ちを考えて行動すること	6.5	5.4	5.5
早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活をする	5.9	5.2	5.2
8～10時間睡眠をとること	5.9	5.7	5.3
学校の当番や係活動をしっかりとすること	6.4	6.1	6.0
学校であったことを家で話すこと	5.6	5.3	5.3
家の人から努力したときや良い行いをしたときにほめられること	6.0	5.6	5.4
PTAや地域行事に進んで参加すること	5.0	3.9	3.8

アンケート結果より

＜児童＞

- ・「学校であったことを家で話す」ことがどの学年も増えてきている。
- ・「挨拶ができる」の数がどの学年も上がっている。
- ▲・「進んで本を読む」の項目がどの学年も下がる傾向がある。
- ・「進んで発表をする」の項目の実現度が高学年になつて低くなる傾向がある。

＜保護者＞

- ・「楽しく学校に通うこと」の数値が高い。
- ・「学校が教育状況を伝える」の項目で数値が上がっている。
- ▲・ニーズ度の高い「読書」「お手伝い」といった自分で行う項目の実現度が依然低い。

＜教職員＞

- ・教職員の保護者や地域への働きかけは上がっているが、数値は高くはない。
- ▲・「ほめる」の実現度が下がっている。
- ・「家庭学習」や「挨拶」といった自分から進んで行うことがまだ定着していないと感じている。
- ・「読書」の習慣がついていないと感じている。

表の見方について

重要度…7点満点で4点が普通。数字が高ければ重要であると考えられるもの。

実現度…7点満点で4点が普通。数字が高ければできていると評価できるもの。

ニーズ度…49点満点。数字が高ければ重要度と実現度の差が大きく、取組の見直しが必要とされるもの。

二重下線は平成29年7月比0.2P以上アップ、枠線は平成29年7月比0.2P以上ダウン

＜保護者・教職員版＞

質問文	保護者			教職員		
	重要度	実現度	ニーズ度	重要度	実現度	ニーズ度
子どもが毎日楽しく学校に通うこと	6.8	5.9	14.6	6.9	4.9	21.7
子どもが学習に向かえるように工夫してはたらきかけること	6.3	4.5	22.1	6.8	4.8	21.7
子どもにとって授業がよくわかること	6.8	5.1	19.7	6.9	4.7	22.6
学年相応(10～15分×学年)の家庭学習の習慣が身についていること	6.3	4.6	21.0	6.5	4.1	25.3
子どもに読書の習慣が身についていること	6.2	3.9	25.6	6.4	4.0	25.9
子どもがあいさつをしっかりとと言えること	6.8	4.8	22.1	6.7	4.4	24.6
子どもがきまりや約束を守って生活すること子どもが	6.7	5.0	19.9	6.9	4.7	22.4
温かい仲間意識を持ち, 思いやりや親切にする心を育むこと	6.8	5.4	17.9	6.9	4.7	23.0
子どもが早寝・早起き・朝ご飯の習慣を身につけていること	6.7	5.1	19.6	6.7	5.0	20.2
子どもに8～10時間程度睡眠をとらせること	6.5	5.4	16.9	6.6	4.4	23.8
子どもが進んでお手伝いや当番活動をする	6.0	4.0	24.2	6.6	5.1	19.0
学校が教育方針や教育活動の状況をわかりやすく伝える	6.0	5.1	17.5	6.5	4.5	22.7
子どもが努力したときや良い行いをしたときにほめる	6.8	5.3	18.5	7.0	5.5	17.4
学校行事や懇談会に参加すること, また働きかける	5.5	4.5	19.0	6.0	4.1	23.7
PTA活動に参加すること	4.7	3.5	21.2	6.3	4.0	25.4
久世3校が小中一貫教育を大切にしていく	5.3	4.9	16.4	5.9	4.4	21.5

＜対策＞

- ・読書については、児童・保護者・教職員ともに数値が下がっていた。学校では朝の読書タイムを週2回設定したり、空いた時間は読書をするように声かけをしたりしており、本を読むことは定着している。しかし、学年相応の本を選び、進んで本を読んでいる子どもは多くないように思う。そこで、国語科の学習で平行読書に取り組んだり、ふれあいセンター図書館の移動図書館を年3回に増やしたり、また冬休みの親子読書に取り組んだり、本との出会いを大切にする取り組みを進めていきたい。
- ・アンケート結果では、子どもたちはあいさつができていると感じているが、保護者や教職員はあまりそうは感じていない。大人(社会)が求めるあいさつと子どもが考えるあいさつには隔たりがあるように感じる。朝の登校時や朝会では元気よくあいさつできる子どもが多くなった。しかし、日常の場で自分から進んで元気よくあいさつはできていない。学校では朝会で教職員劇を行ったり、中学生徒会や児童会・代表委員が「あいさつ運動」を行ったりしているが、なかなか定着していかない。あいさつをすることでつながりが生まれていく。家族や担任の先生にはもちろんのこと、地域の人や学校の先生など、普段自分を支えてくれている人に自分からあいさつができる習慣をつけていきたい。
- ・子どもが学校であったことを家で話したり、学校が保護者にお便りやホームページなどで情報発信をしていったりすることで、学校の様子が家庭に伝わりやすくなっているようである。今後も学校の情報をどんどん発信していくことを継続し、子どものより良い育ちのために、学校や子どもの様子を各ご家庭と共有していきたい。